

第 102 回大腸癌研究会学術集会 大腸癌化学療法委員会 議事録（別府）

2025/01/30（木）13 時 30 分～14 時 30 分 ハイブリッド開催

○参加者（委員、発表者のみ記載、以下敬称略）：

現地参加：山崎健太郎 沖英次 掛地吉弘 篠崎英司 杉本直俊 森脇俊和 高島淳生 安部紘生 梶原由規 植竹宏之 佐竹悠良 寺石文則 谷口浩也他

WEB 参加：石川敏昭

<検討内容>

1. 研究進捗報告（HP 掲載スライド 1 枚目参照）

1.1 レゴラフェニブおよび TAS-102 以外の標準治療薬に不応/不耐となった治癒切除不能大腸がんに対するレゴラフェニブ単独療法と TAS-102 単独療法を比較する多施設共同観察研究（REGOTAS）：森脇

→主解析論文文化済、付随研究を 7 つ実施し 6 研究は論文文化済、1 研究は投稿先検討中

1.2 実臨床における治癒切除不能進行再発結腸直腸癌に対する初回治療としての FOLFOXIRI/FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の効果と安全性を評価する多施設共同観察研究（TRIPON）：森脇

→主解析論文 IJCO 掲載（HP 掲載スライド 2 枚目参照）

1.3 RAS 遺伝子野生型の治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する、一次治療での抗 VEGF 抗体薬または抗 EGFR 抗体薬併用療法の有効性を腫瘍占居部位別に比較する観察研究：高島

→主解析論文文化済、付随研究 4 件 3 件論文文化中（①腫瘍奏効/非奏効例における抗 EGFR 抗体薬 vs. BEV [左側原発例]、②高齢者における抗 EGFR 抗体薬 vs. BEV [左側原発例]、③初回治療としての Doublet chemotherapy とセツキシマブあるいはパニツムマブとの併用療法の有効性の比較）、④1 件プロトコール完成、対象症例の確認、施設への参加協力確認（原発巣病理組織学的特徴と予後および有効性の解析[HP 掲載スライド 3 枚目参照]）

1.4 高齢者 Stage III 大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査（多施設共同観察研究）（MOEST）：石川（HP 掲載スライド 3-枚目参照）

→81 施設より 3,739 例登録、解析対象 3,730 例→PSM 解析などを追加し公表準備へ

1.5 切除不能進行・再発大腸癌における希少なサブタイプの診療実態と治療成績を評価する多施設共同観察研究：谷口

→TMB-H コホートの削除、研究代表者を高島先生に変更したプロトコール改訂→倫理委員会提出→参加施設募集→中央一括審査

1.6 その他（新規研究提案など）

→特になし